



株式会社日刊金属

本社 大阪市北区天満2丁目12番地3号
 ヴィレッジリバー南森町3階E号
 TEL: 06-6353-7831
 FAX: 06-6353-7832
 MAIL: metal_info_osaka@nikkankinzoku.co.jp
 WEB: https://homenikkankinzoku.co.jp/

購読料 12か月79,200円 外電配信料 12か月 92,400円
 6か月39,600円 6か月 46,200円

非鉄金属市況・需給動向1月報告 亜鉛地金生産 3か月横ばい 消費は中国など増加傾向

JOGMEC

独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構(高原一郎理事長)がこのほど発表した市況動向2024年1月報告の亜鉛は、価格低迷が鉱山・製錬所の操業休止に影響、地金生産量は3か月横ばいも消費量は中国筆頭に増加傾向となっている。

■需給動向(1月発表分)

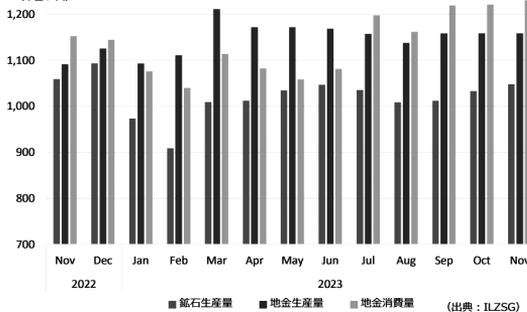
①2023年11月鉱石生産量は対前月比でほぼ横ばい：

国際鉛亜鉛研究会(ILZSG)24年1月発表によると、11月の鉱石生産量は1,048.0千t(対前月比1.4%増、14.7千t増)となった。Peñasquito鉱山のストライキが終了したメキシコで20%以上増産したほか、中国、トルコなどで増産した。

②11月需給バランスは供給不足が継続：

ILZSGによると、11月の地金生産量は1,158.9千t(対前月比0%増、0.2千t増)、地金消費量は1,230.5千t(対前月比0.8%増、9.3千t増)で71.6千tの供給不足となった。地金生産量は特段の大きな動きはなく、9月からほぼ横ばいの状態を保っている。消費量は、EU、米州、アフリカ地域では微減したが、中国、日本をはじめとするアジア地域で増加した。

(単位：千t) 亜鉛鉱石生産量、地金生産量・消費量の推移(月別)



③23年1~11月需給バランスは依然供給過剰：

ILZSGによると1~11月の需給バランスは214.4千tの供給過剰となった。23年後半、中国で亜鉛地金価格低迷を背景とする需要拡大の傾向はみられるが年前半の余剰幅により年ベースではいまだ供給過剰が続いている。

■企業動向

①Nyrstar社(ベルギー)：

エネルギー価格高騰や亜鉛価格低迷により、蘭Budel製錬所を1月後半からケア&メンテナンスに移行。同社は「採算性が取れば再開」としているが、再開時期は未定(15日)。

②Teck Resources社(加)：

第1四半期の天候不順や米Red Dog亜鉛鉱山の設備故障の影響により、23年亜鉛鉱石生産量は644千tとガイダンスをやや下回る(16日)。

③Trafigura社(ベルギー)：

加Myra Falls銅・亜鉛・鉛鉱山を無期限のケア&メンテナンスに移行。同社は19年から同鉱山に多額の投資を行うも財政的にこれ以上の存続が難しいとし、債権者保護手続きを要求(22日)。

④Glencore(スイス)：

23年亜鉛鉱石生産量は918.5千tと前年比2%減に(31日)。

⑤Boliden社(スウェーデン)：

アイルランドTara鉱山、23年6月のケア&メンテナンス移行後、早ければ24年第2四半期に再開の可能性はあるが、計画では生産を縮小する見通し(31日)。

鋳物用銅合金地金

特殊銅合金各種製造
 砲金くず・ラジエーターくず等



角丁原料全般買受け

京和ブロンズ株式会社

京都府久世郡久御山町佐山新開地314
 電話 0774-43-6700(代表)



錫建値は100円引き上げ

5,650円

3月の月内平均価格は5,550円

三菱マテリアは18日、高純度錫地金(99.99%=フォーナイン)の相対価格を100円引き上げの5,650円にすると発表、同日より適用した。2024年3月の月内平均価格は5,550円。直近6か月の価格推移は次の通り(円/キロ、カッコ内

は平均)。

2023年

10月	5,200(2)	5,050(6)	5,100(18)	平均5,100.0
11月	5,150(1)	5,200(20)	5,100(27)	平均5,150.0
12月	5,000(1)	5,050(19)		平均5,020.0

2024年

1月	5,050(4)	5,100(22)		平均5,070.0
2月	5,400(1)	5,300(21)		平均5,360.0
3月	5,400(1)	5,550(11)	5,650(18)	平均5,550.0

溶融亜鉛めっき1月生産

前年同月比 8.3%減

増加は15種のうち5種

亜鉛鍍金協

一般社団法人日本溶融亜鉛鍍金協会(根上靖晃理事長)はこのほど、溶融亜鉛めっき生産の2024年1月実績を発表し

た。全体合計は、2023年1月の79,781トンから8.3%減の73,161トン(以下トン)に。うち構造物合計も、同1月の78,206から8.4%減の71,624となった。

15種別で前年1月に比べ増加したのは、一般鋼材、電力・通信、造船、合金めっき、「その他」の5種だった。

種類別では、鋼管は1,537(前年12月1,575)、構造物の種類は次の通り。

▷一般鋼材3,439(3,001)▷道路9,487(9,911)▷グレーチング2,239

(2,454)▷建築材26,922(31,446)

▷駐車場2,460(3,668)▷仮設機

材4,300(5,114)

▷電力・通信6,843(6,824)

▷鉄道567(604)

▷継手159(195)

▷ファスナー2,363(2,465)

▷造船3,975(3,905)▷鉄筋27

(227)▷合金

めっき787(488)

▷その他8,056(7,904)。

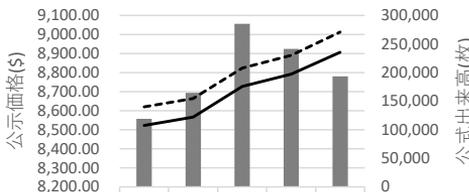
溶融亜鉛めっき生産実績

期	構 造 物															合 計	
	一般鋼材	通	路	グレーチング	建築材	駐車場	仮設機材	電力・通信	造船	合金めっき	その他	構造物計	鉄管	継手	ファスナー		
H30年度	22,763	46,715	145,920	40,915	444,250	29,191	105,031	97,115	9,259	14,704	38,155	57,590	1,096	6,600	122,545	1,159,086	1,181,849
H31(前年度)	22,135	45,090	144,058	40,158	454,242	35,858	113,342	106,487	9,668	9,559	39,877	59,230	1,573	7,805	121,865	1,188,812	1,210,947
R2年度	17,240	42,322	137,230	36,536	393,623	39,606	74,740	99,528	11,957	5,550	35,760	51,245	1,600	6,268	107,831	1,043,796	1,061,036
R3年度	20,263	42,246	129,383	35,286	387,178	35,727	76,471	94,941	10,254	3,802	36,231	44,621	1,677	6,218	107,681	1,011,716	1,031,979
R4年度	19,087	38,281	122,036	34,863	381,362	39,642	83,785	86,311	8,270	2,594	34,983	45,556	797	8,403	106,319	993,202	1,012,289
R5年度	18,493	39,204	115,472	31,622	364,725	39,821	64,093	84,837	8,328	2,248	31,748	48,546	1,192	11,101	107,853	950,790	969,283
H30年度	23,170	46,436	144,548	40,267	446,328	29,827	104,514	102,852	9,121	12,940	38,139	57,697	1,232	6,515	123,732	1,164,148	1,187,318
H31(前年度)	20,679	43,734	143,335	40,038	443,585	34,664	109,114	103,709	9,870	8,998	39,764	57,700	1,650	8,184	119,198	1,163,543	1,184,222
R2年度	19,779	42,488	133,702	35,691	387,438	41,504	69,325	98,602	11,821	4,552	35,316	49,464	1,623	5,742	103,631	1,020,899	1,038,878
R3年度	17,682	41,146	127,538	34,820	386,004	36,186	81,676	93,379	9,875	3,594	36,373	43,706	1,465	6,968	109,784	1,012,714	1,032,396
R4年度	19,827	37,961	121,797	34,296	382,482	41,293	78,987	85,653	8,141	2,507	33,686	47,225	913	8,573	105,613	989,127	1,008,954
R5年度(前期)	9,013	18,190	53,410	15,551	175,604	20,276	30,215	40,810	4,101	1,161	15,597	23,824	592	5,486	52,397	457,214	466,227
令和5年1月	1,575	3,001	9,911	2,454	31,446	3,668	5,114	6,824	604	195	2,465	3,905	227	488	7,904	78,206	79,781
2月	1,658	3,252	10,502	2,676	32,093	3,441	5,598	7,216	648	196	2,737	4,010	34	929	8,582	81,874	83,532
3月	1,784	2,999	9,847	2,680	32,339	3,574	5,511	7,637	755	205	2,851	4,313	63	914	9,686	83,874	85,658
4月	1,641	3,201	8,348	2,654	28,814	2,727	4,956	6,785	622	226	2,857	3,845	105	835	8,250	74,125	75,766
5月	1,538	2,703	7,956	2,426	28,159	2,277	4,377	6,435	615	188	2,582	3,822	63	921	8,129	70,653	72,191
6月	1,437	3,054	9,410	2,601	32,123	3,296	5,564	7,952	832	290	2,733	4,171	161	888	9,904	82,979	84,416
7月	1,585	2,976	8,956	2,596	31,047	3,297	4,876	6,745	640	180	2,498	4,098	124	929	8,325	77,287	78,872
8月	1,314	2,529	8,640	2,354	28,372	3,203	4,292	6,195	624	128	2,322	3,825	86	997	8,486	72,055	73,367
9月	1,498	3,727	10,100	3,020	27,089	5,476	6,150	6,698	768	149	2,605	4,063	53	952	9,303	80,153	81,651
10月	1,420	4,097	10,964	2,761	32,051	3,982	5,607	7,588	756	152	2,683	4,391	114	1,121	10,192	86,459	87,879
11月	1,471	3,844	10,854	2,698	31,202	2,659	6,086	7,284	789	169	2,649	4,142	51	1,137	9,781	83,935	84,866
12月	1,572	3,821	9,984	2,802	29,490	2,221	6,002	7,478	675	170	2,716	3,961	111	990	9,311	79,731	81,304
令和5年1月	1,537	3,439	9,487	2,239	26,922	2,460	4,300	6,843	567	159	2,363	3,975	27	787	8,056	71,624	73,161

一般社団法人日本溶融亜鉛鍍金協会 (単位:トン)

LME公式値週間推移 3月11日~3月15日(現地)

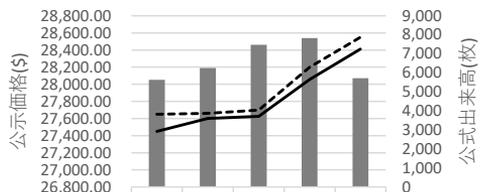
LME銅AG



	3月11日	3月12日	3月13日	3月14日	3月15日
出来高	118,982	164,400	285,251	241,389	193,220
直物	8,522.00	8,566.00	8,727.00	8,791.50	8,906.50
先物	8,620.00	8,664.00	8,824.00	8,890.00	9,013.00

出来高 直物 先物

LME錫HG



	3月11日	3月12日	3月13日	3月14日	3月15日
出来高	5,629	6,261	7,480	7,823	5,725
直物	27,450.00	27,600.00	27,625.00	28,055.00	28,410.00
先物	27,650.00	27,660.00	27,700.00	28,200.00	28,550.00

出来高 直物 先物

※3月15日の出来高は速報値です。



JEITA (119)
日米デジタル経営調査
「米国企業だから」は捨てよう
～日本の取り組みに遅れ明らか～

一般社団法人電子情報技術産業協会(JEITA)ソリューションサービス事業委員会(委員長=石橋潤一富士通株式会社サービスプラットフォーム品質マネジメント室長)がこのほど、IDC Japan株式会社と共同で「日米デジタル経営調査」を実施し、結果を発表した。日本と米国の民間企業それぞれ約300社に協力を依頼、非IT部門のマネージャーと経営幹部を対象にアンケートを行い、結果をまとめデジタル経営に取り組む日本企業への提言を示した。(記事の出典は「2024年JEITA/IDC Japan調査」)

調査主体は、JEITAの同事業委員会、情報政策委員会、ITプラットフォーム事業委員会と、IDC Japan株式会社。

2013年の「ITを活用した経営に対する日米企業の相違分析」、17年の「日本企業のIT経営に関する調査」、20年の「日米企業のDXに関する調査」に続く調査で、今回はデジタル経営にフォーカスした。

調査目的は、日米企業におけるデジタル経営の取り組み状況を明らかにし日本企業に向けた提言をまとめること。

実施は2023年10～11月、アンケートはWebで行った。対象は従業員数が300人以上の民間企業。産業分野はパブリックセクター(政府/自治体、教育、医療)とITベンダーを除く全業種。回答者は情報システム部門以外に在籍しているマネージャーと経営幹部とし、回答は日本257社、米国は300社から得られた。

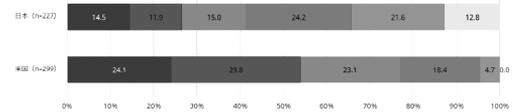
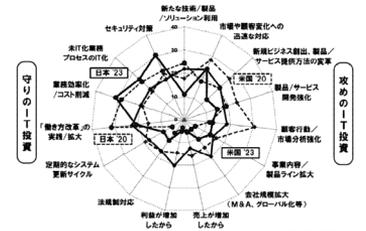
結果の要点

- デジタル経営の実践段階にある米国企業の割合は50%を上回る一方、日本企業では25%程度に留まっており、米国企業に比べて日本企業のデジタル経営への取り組みは遅れを取っている。
- デジタル「経営」であることを正しく理解し、日本企業の実態に即した人材施策と組織変革を行うとともに、「米国企業だからできる」という考え方を捨てるべき。

調査結果のサマリー

- 日本企業は、一般的には「効率化」のためにデジタルを活用しており、半数以上の日本企業が長期的なデジタル戦略を有している。
- デジタル戦略と経営戦略が一体化している日本企業は「攻め」の目的が明確で、蓄積されたデータの分析結果から戦略や方針を決める「データドリブン経営」による成長を指向している。
- 日本企業のデジタル人材育成は、テクノロジー部門、ビジネス部門ともに既存従業員の再教育が中心で、外部からの採用や買収などを活用する米国企業とは異なる。
- 日本の労働市場状況を考えて、より幅広い人材調達戦略が必要である。
- 日本企業のデジタルテクノロジーの適用領域は米国企業に比べて狭い。
- 日本企業は「プロセス」のデジタル化が中心で、データを使った経営が緒に就いたばかりである。
- デジタル経営を進めるには組織文化の変革が必要、とい

IT投資が増える理由としてどんなものがあるか、3つを選択する質問の結果



DX/デジタル経営の取り組み状況として最も近いものを選ぶ質問の結果/上が日本

取組状況の選択肢(6段階)=グラフの左から

「事業に組み込まれ、継続的に業務効率化/収益拡大に向けた取り組みを行っている段階」「本格的な事業への導入を行っている段階」「実証実験/PoC(Proof of Concept)を完了し、投資効果などの見極めのため拡大を検討している段階」「小規模なパイロットプロジェクトや実証実験/PoCを行っている段階」「情報収集/検討を進めている段階」「行っていない」

意識も日本企業では少ない。日本でもデジタル戦略と経営戦略が一体化している企業では、外部起点の思考、多様性の受容、権限移譲など変革の傾向がみられる。

提言

デジタル「経営」であることの理解

「経営」の視点からデジタル活用を考える「デジタル経営」の意識を強くし、幅広い業務プロセスで多くのテクノロジーを試すことが肝要である。「デジタルのため」ではなく、「競争に勝つため」「従業員のやりがい」という高次の目的を設定し、戦略、人材、投資、組織文化、CSRすべてに「デジタル」を内在させる必要がある。

日本企業の実態に即した人材施策と組織変革

社内IT人材が少ない状況では、パートナーやベンダー活用が必須。米国企業も内製から外部ベンダーを活用する意識が高まっており、「丸投げ」にならずに適切な人材を社内外で確保できる仕組みを整える必要がある。

そのためにも、さまざまな知見、スキル、経験を持った人材が、適時適所で活躍できるよう、流動性を考慮した人事制度、評価制度との連動強化などが必要になる。

「米国企業だからできる」という考え方を捨てる

米国企業も「抵抗勢力」に対処してきており、経営層とミドルマネジメントの協力が必須。米国企業ができて、日本企業ができない理由はない。

JEITAより

JEITAは2017年度より、サイバー空間と現実空間との情報連携により、新たな価値が生まれ、社会全体の最適化がもたらされる、世界に先駆けた超スマート社会の実現「Society 5.0」の推進を事業指針として掲げている。事業委員会としては、これらを実現する手段としての「DXの推進」ならびに「攻めのIT投資」が必要であると考えており、今後も積極的な情報提供、提案活動を展開したいと考えている。ユーザー企業や団体とさまざまな情報提供の場を設けるほか、JEITAの各委員会からの提言への反映、先行事例の公表、諸活動において得た知見の公開など、幅広いビジネスリーダーに対してITの価値を訴求していく。

故銅市況

前週末16日朝入電の海外相場は、LME（ロンドン金属取引所）銅相場で、直物の前場売値が、前営業日の8,791.50ドルより115.00ドル高の8,906.50ドル。直物の終値は、前営業日の8,783.25ドルより185.25ドル高の8,968.50ドル。3か月物の前場売値は、前営業日の8,890.00ドルより123.00ドル高の9,013.00ドル。3か月物の終値は、前営業日の8,887.50ドルより184.50ドル高の9,072.00ドル。COMEX（ニューヨーク商品取引所）銅相場の5月限は、前営業日の404.55セントより7.90セント高の412.45セント。SHFE(上海期貨交易所)銅相場の5月限は、前営業日の7万1,680元より720元高の7万2,400元。

週明け18日の東京為替市場TTSレートは、前週末の149.59円より0.73円の円安ドル高、1ドル=150.32円。16日に入電した直近のLME銅相場直物前場売値は8,906.50ドル。この値と18日の東京外国為替市場USドルTTSレートから計算した国内採算値は、前週末の135万3,000円より2

故銅直納問屋筋の平均値頃感 (単位は千円)

(3月14日更新)

直納問屋筋によるロット物（5トン前後）の平均的な値頃感は次の通り。

ピカ線が1174~1179、上銅新のうちタフピッチや無酸素銅などは1139~1144、並銅は1104~1114、込銅（高品位=約97%）は1094、セパは771~776。コーペルは要り用筋で712、それ以外は697ほど。黄銅削粉も同様に要り用筋722、それ以外692~702どころの値頃。並青銅鋳物削粉は966~971どころ。

小口市中相場(1トン前後)では、ピカ線が1154~1174、上銅新くずが1119~1139、普通上銅が1094~1114、2号銅線が1086~1106、並銅が1084~1104、込銅(94-97%)が1032、込銅(90-93%)が1034、下銅が603~653、セパが736~771、コーペルが652~697、黄銅棒地が647~692、黄銅削粉が642~687、黄銅ラジが607~615、交叉ラジが644~701、黄銅銅鋳物が611~618、送りが352~371、上青銅鋳物が963~983、並青銅鋳物が943~958、上青銅鋳物削粉が958~978、並青銅鋳物削粉が933~953どころ。

アルミ二次合金メーカー買値実勢値

(1トン程度・置場・現金・キロ当たり円)

関東地区 (3月後半)

2S=198円~219円、63S=183円~234円、アルミホイール(1P)=200円~214円、ビス付サッシ=138円~147円、エンジンコロ=139円~151円、込合金(機械鋳物)=139円~147円、缶プレス(ソフト)=129円~140円。

関西地区 (3月後半)

2S=222円~224円、63S=215円~249円、印刷版=210円~212円、アルミホイール(1P)=205円~246円、ペースメタル=220円~231円、機械鋳物=132円~136円、ダライ粉=149円~152円、ビス付サッシ=137円~162円、缶プレス=140円~145円。

万3,000円高の137万6,000円。この日、電気銅建値は135万円に据え置かれた。

為替動向

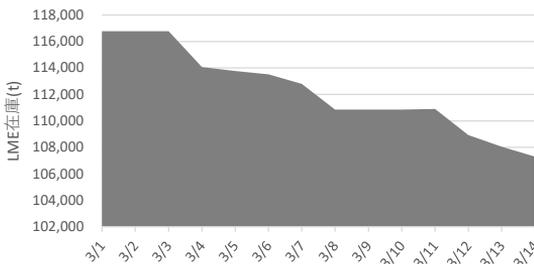
15日、ロンドン外国為替市場のユーロ対ドル相場は横ばい圏で推移した。16時、前日と同水準の1ユーロ=1.0880ドル~1.0890ドル。朝方には持ち高調整のユーロ買いドル売りが出たが足元ではFRBの利下げ判断が慎重になるとの見方が拡がり米国の長期金利が水準を切り上げた場面ではユーロ売りドル買いも進みユーロの対ドル相場は方向感に乏しい展開となっていた。英ポンドは対ドルで小幅ながら下落。16時、前日と比べ0.0010ドルのポンド安ドル高、1ポンド=1.2730ドル~1.2740ドルで推移。

15日のニューヨーク外国為替市場で円相場は4営業日の続落となった。前日と比べ0.80円の円安ドル高、1ドル=149.05円~149.15円で取引を終えた。この週発表のCPI、PPIが共に市場予想を上回り米国のインフレ沈静化には尚時間を要するとの観測からFRBが利下げに慎重になるとの見方が拡がった。この日、米国の長期金利が高水準を付け日米の金利差拡大から円売りドル買いが促された。

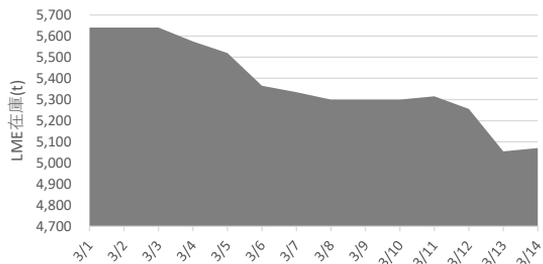
18日早朝の東京外国為替市場でも円相場は下落。8時30分、前週末17時と比べ0.41円の円安ドル高、1ドル=148.98円~148.99円で推移した。FRBによる利下げ時期の先送りが意識され、週明けの東京外為市場でも日米の金利差が意識され円売りドル買いが優勢になった。円は対ユーロでも下落。8時30分、前週末17時と比べ0.48円の円安ユーロ高、1ユーロ=162.13円~162.16円で推移した。

LME認定倉庫在庫量推移 3月1日~3月14日(現地)

銅



錫





LME銅相場は急騰 8,968.50ドル

COMEX銅相場は大きく反発 SHFE銅相場は続伸

LME非鉄相場は総じて堅調 直物終値は亜鉛2,520.01ドル、アルミ2,225.42ドル



16日朝入電した海外相場は、LME（ロンドン金属取引所）の銅相場で、直物の前場売値が、3月15日入電の8,791.50ドルより115.00ドル高の8,906.50ドル。4営業日の続伸で4.51%高。この週4.14%の上伸。3月に入って6.17%の上伸。3か月物の前場売値は、3月15日入電の8,890.00ドルより123.00ドル高の9,013.00ドル。4営業日の続伸で4.56%高。この週4.23%の上伸。3月に入って6.35%の上伸。LME公認倉庫の現地3月14日銅在庫は、前日の10万8,050トンより750トン減の10万7,300トン。

COMEX（ニューヨーク商品取引所）の銅相場は、3月限が、3月15日入電の403.70セントより7.55セント高の411.25セント。反発して1.87%高。この週5.86%の上伸。3月に入って7.25%の上伸。4月限は、3月15日入電の403.75セントより7.80セント高の411.55セント。反発して1.93%高。この週5.92%の上伸。3月に入って7.15%の上伸。

SHFE（上海期貨交易所）銅相場は、3月限が、3月15日入電の7万1,690元より340元高の7万2,030元。4営業日の続伸で3.85%高。この週3.33%の上伸。3月に入って4.79%の上伸。4月限は、3月15日入電の7万1,610元より750元高の7万2,360元。4営業日の続伸で4.07%高。この週3.52%の上伸。3月に入って5.19%の上伸。

錫は続伸

LME錫相場の前場売値は、直物が、3月15日入電の2万8,055.00ドルより355.00ドル高の2万8,410.00ドル。4営業日の続伸で3.50%高。この週3.37%の上伸。3月に入って7.72%の上伸。3か月物の前場売値は、3月15日入電の2万8,200.00ドルより350.00ドル高の2万8,550.00ドル。4営業日の続伸で3.25%高。この週3.16%の上伸。3月に入って7.61%の上伸。LME公認倉庫の現地3月14日錫在庫は、前日の5,055トンより15トン増の5,070トン。

鉛は続落

LME鉛相場の前場売値は、直物が、3月15日入電の2,142.00ドルより35.00ドル安の2,107.00ドル。2営業日の続落で2.63%安。この週0.85%の下落。3月に入って1.94%の上伸。3か月物の前場売値は、3月15日入電の2,146.50ドルより28.50ドル安の2,118.00ドル。2営業日の続落で1.94%安。この週0.40%の下落。3月に入って2.52%の上伸。LME公認倉庫の現地3月14日鉛在庫は、前日の19万0,950トンより375トン減の19万0,575トン。

亜鉛は反発

LME亜鉛相場の前場売値は、直物が、3月15日入電の2,519.50ドルより4.50ドル高の2,524.00ドル。反発して0.18%高。この週0.90%の上伸。3月に入って5.96%の上伸。3か月物の前場売値は、3月15日入電の2,560.00ドルより8.00ドル高の2,568.00ドル。反発して0.31%高。この週1.02%の上伸。3月に入って6.03%の上伸。LME公認倉庫の現地3月14日亜鉛在庫は、前日の26万6,025トンより1,900トン減の26万4,125トン。

アルミも反発 アルミ合金は横ばい 北米特殊も横ばい

LMEアルミ相場の前場売値は、直物が、3月15日入電の2,205.00ドルより13.50ドル高の2,218.50ドル。反発して0.61%高。この週0.43%の上伸。3月に入って2.57%の上伸。3か月物の前場売値は、3月15日入電の2,255.00ドルより16.50ドル高の2,271.50ドル。反発して0.73%高。この週0.64%の上伸。3月に入って2.92%の上伸。LME公認倉庫の現地3月14日アルミ在庫は、前日の57万3,275トンより万1,500トン減の57万1,775トン。

LMEアルミ合金相場の前場売値は、直物が、3月15日入電より横ばいの1,820.00ドル。この週横ばい。3月に入って横ばい。3か月物の前場売値も、3月15日入電より横ばいの1,820.00ドル。この週横ばい。3月に入って横ばい。

LME北米特殊アルミ合金（NASAAC）相場の前場売値は、3月15日入電より横ばいの2,305.00ドル。この週横ばい。3月に入って横ばい。3か月物の前場売値も、3月15日入電より横ばいの2,305.00ドル。この週横ばい。3月に入って横ばい。

ニッケルは反発

LMEニッケル相場の前場売値は、直物が、3月15日入電の1万7,755.00ドルより245.00ドル高の1万8,000.00ドル。反発して1.38%高。この週0.87%の上伸。3月に入って3.24%の上伸。3か月物の前場売値は、3月15日入電の1万8,050.00ドルより300.00ドル高の1万8,350.00ドル。反発して1.66%高。この週1.55%の上伸。3月に入って3.53%の上伸。LME公認倉庫の現地3月14日ニッケル在庫は、前日の7万4,178トンより150トン減の7万4,028トン。

<https://nikkankinzoku.co.jp/>

PW: nikkin202403

LME公示価格(US\$)／3月15日

		銅	錫	鉛	亜鉛	アルミ	アルミ合金	北米特殊アルミ合金	ニッケル
直物	公示価格	8,906.50	28,410.00	2,107.00	2,524.00	2,218.50	1,820.00	2,305.00	18,000.00
	前営業日比	115.00	355.00	▲ 35.00	4.50	13.50	0.00	0.00	245.00
	週間増減比	4.14%	3.37%	▲ 0.85%	0.90%	0.43%	0.00%	0.00%	0.87%
先物	公示価格	9,013.00	28,550.00	2,118.00	2,568.00	2,271.50	1,820.00	2,305.00	18,350.00
	前営業日比	123.00	350.00	▲ 28.50	8.00	16.50	0.00	0.00	300.00
	週間増減比	4.23%	3.16%	▲ 0.40%	1.02%	0.64%	0.00%	0.00%	1.55%

海外非鉄金属相場

(3月16日 入電・現地 3月15日)

1 ロット=銅、鉛、亜鉛、アルミは25トン
錫5トン、アルミ合金20トン、ニッケル6トン
セツルメント=現物・前場・売

Table with columns for metal types (銅 A G, 錫 H G, 鉛, 亜鉛 S H G, アルミ H G, アルミ合金, 北米特殊アルミ合金, ニッケル, N Y コメックス相場) and rows for current prices, previous day prices, and high/low prices. Includes a summary table for NY Comex prices at the bottom.

フリー・マーケット
■米国生産者価格(地金)
銀(セント/オンス) EH社 2525.0 (25.0)
銀(セント/オンス) HH社 2533.0 (50.0)

■NY相場
取引業者銅(セント/ポンド) 256.35 - 257.35
2号銅線くず(セント/ポンド) 353.35 - 357.35

■ロンドン相場(ドル)
金(オンス) 2163.45 (2.65)
アンチモン99.65%(トン) 13400 - 13650
ピスマス99.9%(ポンド) 3.80 - 4.00
カドミウム99.99%(ポンド) 1.95 - 2.10
インジウム99.99%(キロ) 240.00 - 270.00
セレンウム99.5%(ポンド) 10.00 - 11.00
スポンジチタン99.5%(キロ) 13.00 - 14.00
フェロモリブデン欧州産65%(キロ) 48.00 - 48.00
コバルトカソード99.8%(ポンド) 17.00 - 18.00
マグネシウム中国産99.9%(トン) 3250 - 3250
タングステンAPT(純分10キロ) 330.0 - 340.0
 tantalum 磁石30-35%(ポンド) 79 - 82

■K L T M 錫 (MYR/KG、出来高トン)
相場 (15日) (18日)
出来高 - -
ドル建て価格 - -
O D レート 3.7600 3.7600
M \$ / U S \$ レート 4.6993 4.7153
採算円/キロ - -
US\$採算円/キロ - -

■LME在庫(トン)
在庫 増減
(3/14現在) 銅 107,300 ▲ 750
錫 5,070 15
鉛 190,575 ▲ 375
亜鉛 264,125 ▲ 1,900
アルミ 571,775 ▲ 1,500
アルミ合金 1,600 -
北米特殊アルミ合金 460 -
ニッケル 74,028 ▲ 150

■上海在庫(トン)
在庫 増減
(3/15現在) 銅 286,395 47,150
アルミ 206,417 22,153
亜鉛 119,584 10,913
鉛 67,135 4,325
ニッケル 20,177 1,161

■LMEプレマーケット(ドル) 先物気配
(3/18) 銅 8,949.0 - 8,950.0
(3:00AM現地) 錫 28,240.0 - 28,280.0
鉛 2,168.5 - 2,169.5
亜鉛 2,585.0 - 2,586.5
アルミ 2,268.0 - 2,269.0
ニッケル 18,340.0 - 18,355.0

■上海相場 1トン当たり元、1ロット=5トン・増値税込
3月限 銅 72030 19175 21365 16285 140650
4月限 72360 19220 21400 16285 140400
前日比 340 ▲ 65 ▲ 60 ▲ 30 ▲ 660
出来高 3685 3180 560 160 120

採替価格 フレート諸チャージ込み入荷ベース(上海は前日の元・円レートで換算)

※18日のKLTMは入電なし。

Table with columns for metal types (銅, 錫, 鉛, 亜鉛, アルミ, ニッケル) and rows for LME (円ベース/キロ), COMEX, and 上海 prices. Includes a note '元・円 = 21.02'.

非鉄金属製品相場

(3月18日調べ)

(キロ当たり) ◎上げ ◆下げ

伸銅品	大阪		東京		鉛亜鉛製品	大阪		東京		電線 (現場納め 定尺 関西地区 大口~小口)		
銅小板2.0ミリ	1700	1695	亜鉛板0.3×3×7	650	650	V V F						
建築用0.3ミリ	1750	1745	印刷用亜鉛板トッパン用	750	750				2C×1.6	64~66		
銅大板2×1×2	1830	1895	給水管13ミリ	280	280				2C×2.0	113~115		
銅管(ベース)	1840	1905	鉛板1.5ミリ	590	590				3C×1.6	118~120		
水道用管(m当たり)13ミリ	1750	1815	鉛線3ミリ	440	440				3C×2.0	166~169		
銅棒25ミリ	1610	1660	軽圧品									
銅条1.5×100	1665	1705	アルミ箔0.007ミリ	1160	1175				1.6mm	33.8~36		
銅線0.9ミリ	1690	1720	〃 小板1ミリ	795	805				5.5sq	92.7~98.6		
銅帯6×50	1570	1660	〃 大板1ミリ	775	795				14sq	231~245		
銅平角線	1890	1890	〃 5052板	835	845				I V			
黄銅小板2.0ミリ	1385	1370	〃 6061板	1360	1375							
〃 0.3ミリ	1415	1400	〃 2017板	1290	1405				600V 3C×38	1765~1876		
黄銅大板2×1×2	1535	1550	〃 線3ミリ	775	790				600V 3C×60	2722~2893		
黄銅管	2015	1850	〃 快削棒50ミリ	995	1010				600V 3C×100	4570~4858		
復水器用黄銅管	1985	1820	〃 合金棒50ミリ(17S)	980	990				6kV 3C×38	2867~3037		
黄銅棒快削25ミリ	1115	1140	〃 合金棒50ミリ(56S)	935	950				6kV 3C×60	4022~4260		
六角棒	1145	1170	貴金属(一般小口向け)						CVV (関西-関東)			
四角棒	1175	1200	白金(グラム)		◎ 5007				3C×2	135-138		
鍛造用	1155	1180	パラジウム(グラム)		◎ 5874				4C×2	181-185		
ネーバル	1255	1280	金(グラム)		◎ 11423				6C×2	258-264		
高力	1255	1280	銀(キログラム)		◎ 135300				7C×2	296-303		
黄銅線6ミリ	1570	1550	レアメタル輸入価格 1月通関 (CIF)						合金鉄 1月輸入単価 (CIF)			
黄銅平角線ロール仕上	1770	1760	金属ケイ素(99.99%未満)	341					フェロマンガン2%以上炭素含有	150		
黄銅条1.5×100	1380	1385	モリブデン酸化物	4462					〃 その他	194.2		
リン青銅板一般用1.0ミリ	3040	3230	タンタル	80651					フェロシリコン55%以上	236		
〃 バネ用0.3ミリ	3290	3490	マグネシウム	430					フェロクロム4%以上炭素含有	247		
リン青銅棒25ミリ	3140	3350	コバルト	5083					フェロモリブデン純分60%以上	4353		
リン青銅線3ミリ	3530	3740	インジウム	30368					フェロバナジウム	2924		
洋白板一般用1.0ミリ	3720	3870							フェロニッケル33%未満	575.4		
〃 バネ用1.0ミリ	3850	4020							電気亜鉛メッキ銅板冷延1ミリ	326		

減摩合金 (500kg以上、大口価格)	3月18日改定		銅合金地金		3月1日発表	
			(標準価格)			大阪
1種	5000	BC 1種	1310			
2種	4865	2種	1630			
3種	4725	3種	1710			
4種	4205	6種	1435			
5種	3930	7種	1530			
7種	1580	YBSC 3種	1150			
8種	1410	LBC 3種	1635			
9種	1225	PBC 2種	1735			


<https://home.nikkankinzoku.co.jp/>

非鉄金属材料相場

山元建値 電気銅 1350(14) 金 10,350(18)
 () 実施日 電気鉛 384(14) 銀 122,790(18)
 電気亜鉛 439(14) 錫(99.99%) 5,650(18)
 インジウム大口~小口(99.99%) 41,000 ~ 46,000(1)

キロ当たり円	◎上げ ◆下げ		(3月18日調べ)		インジウム大口~小口(99.99%) 41,000 ~ 46,000(1)			
非鉄原料 (炉前材)	大阪 仲間相場	東京 仲間相場	地 金		大阪 仲間相場	東京 仲間相場	高値	安値
1トン以上外税持込					高値	安値	高値	安値
1 号 銅 線	1194	1183	電 気 銅	◎ 1333	◎ 1328	◎ 1335	◎ 1330	
2 号 銅 線	1152	—	電 気 亜 鉛	411	405	411	405	
上 銅 (新 切)	1165	1151	蒸 留 亜 鉛	399	393	399	393	
雑 ナ ゲ ッ ト	1028	1027	再生ダイカスト亜鉛2種	340	334	340	334	
並 銅	1107	1085	再 生 亜 鉛 (98%)	299	293	299	293	
下 銅	1088	1058	電 気 鉛	359	356	359	356	
銅 削 粉	1068	1058	再 生 鉛 1 号	342	332	338	333	
銅 さ い (30%)	25	25	再 生 鉛 3 号	347	343	343	339	
新 切 黄 銅 セ バ	878	889	錫 1 号	◎ 4400	◎ 4350	◎ 4400	◎ 4350	
コ ー ペ ル	842	845	ア ン チ モ ン	2100	2050	2100	2050	
黄 銅 棒 地	820	833	ニッケル(メッキ用)	◎ 2800	◎ 2750	◎ 2800	◎ 2750	
黄 銅 削 粉	814	826	コ バ ル ト	5300	5000	5300	5000	
並 黄 銅	810	775	セ レ ニ ウ ム	3800	3600	3800	3600	
黄 銅 ラ ジ エ タ ー	677	669	ビ ス マ ス	1500	1400	1500	1400	
交 叉 ラ ジ エ タ ー	758	726	カ ド ミ ウ ム	750	700	750	700	
黄 銅 鋳 物	815	—	マ グ ネ シ ウ ム 合 金	475	455	475	455	
山 送 り (55%)	435	—	アルミ地金 99.70 %	◎ 369	◎ 365	◎ 371	◎ 367	
上 青 銅 鋳 物	946	—	アルミ二次地金 99 %	328	323	328	323	
並 青 銅 鋳 物	944	928	〃 90 %	303	298	303	298	
上 青 銅 鋳 物 削 粉	939	—	アルミ二次合金ADC12	415	410	418	413	
並 青 銅 鋳 物 削 粉	929	912	鋳 物 用 C2BS	440	435	442	437	
新 切 リ ン 青 銅 (伸 銅)	—	1177	青 銅 合 金 地 金 3 種	1660	1650	1745	1735	
〃 (鋳 物)	1060	—	〃 6種	1395	1385	1435	1425	
リ ン 青 銅 削 粉	978	966	ハ ン ダ 錫 60 %	3365	3325	3385	3355	
新 切 洋 白 (電 子 材)	990	973	〃 50 %	2925	2875	2945	2915	
新 切 亜 鉛	260	260	〃 40 %	2545	2485	2500	2470	
ダ イ カ ス ト く ず	173	173	減 摩 合 金 2 種	4770	4740	4775	4745	
亜 鉛 ド ロ ス	153	163	〃 4 種	4110	4085	4115	4085	
上 鉛	203	201	〃 7 種	1485	1435	1485	1435	
電 池 素 鉛 ケ ー ス 込	80	80	ス テ ン レ ス ・ 特 金	18-8ステンレス 新切		65	70	
活 字 鉛	182	179		〃 グライ粉		50	55	
新 切 ア ル ミ 1 級	247	253		高耐食ステンレスSUS316	◎ 225	◎ 225		
新 切 サ ッ シ 1 級	249	251		耐熱ステンレスSUS310	◎ 290	◎ 290		
新 切 合 金 1 級	241	236		13クローム 新切	30	31		
機 械 鋳 物 1 級	208	221		ハイス 9種	180	180		
ビ ス 付 サ ッ シ P	222	219						
合 金 削 粉 P	170	166						
込 ガ ラ P	136	137						
カ ン ・ バ ラ	168	158						

非鉄金属材料相場面
 PW:nikkin202403